

# 映像に字幕を付けるボランティア

## かわちながの字幕サークル

聴覚に障害がある人たちにとって、映画やビデオに字幕が付与されていれば内容を理解するうえで大いに役に立つことを知り、4年ほど前に、「かわちながの字幕サークル」に参加しました。

映像に字幕を付与するには、まず、映像をパソコンに取り込み、再生しながらセリフを聞き取って文章にするところから始めます。この聞き取りでは、人名、地名、方言などを文字にするのに苦労します。幸い、インターネットで検索できる場合が多いので、大変助かっています。それでもわからない場合は、原作を図書館から借りてきて確認するということもあります。また、一度聞いただけではよく聴き取れないことがたびたび

あり、一歩進んではまた戻つて、再度聴き取るという作業を繰り返すことになります。それでも聴き取れない場合があり、そんな時は少し時間をあけると、不思議なことに聴き取れるということがあります。

次に、セリフの開始点と音声とを一致させる作業を行い、画面の進行に合わせて字幕が表示されるようにしていきます。セリフが長い場合や、次々にキヤストが入れ替わる場合は、映像を楽しんでいたり字幕が表示される

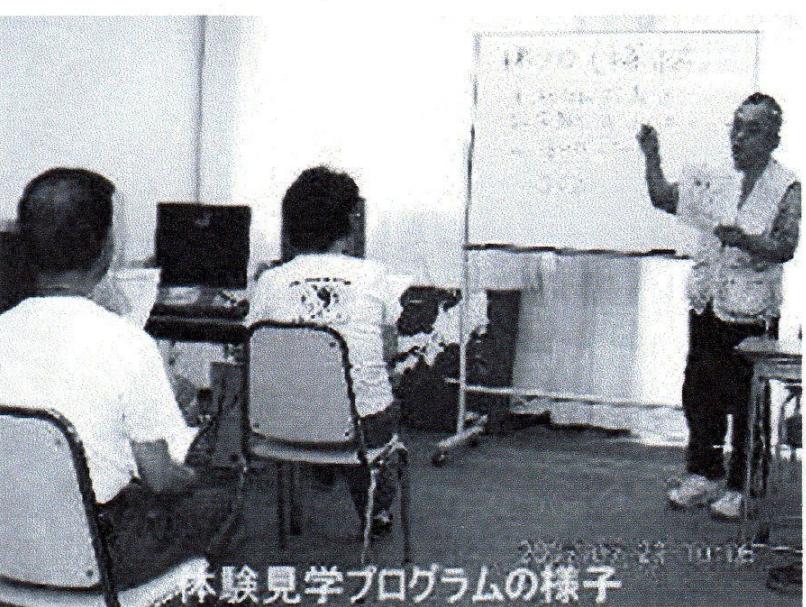
で、苦労するところです。

これら2つの、セリフを聴き取って文字にし、セリフの開始時間の設定をする作業には、2時間程度の映画に対しても30～50時間程度の時間を要し、5人程度のメンバーで分

担して行っています。

わたしたちのサークルでは、擬音や効果音について、できる限り文字にして再現していますが、聴覚に障害のある方たちにとって意味があるのかと悩むこともあります。

サークルとしては、字幕を付与した映画などを観ていただきご指摘をいただき、よりよいものに改善していきたいのですが、試写会に参加していただける方が少ないので大きな課題です。字幕を作成できるメンバーは何とかそろつてきたので、試写会の企画・運営などを支援していただける方の参加を心待ちにしているところです。このようなメンバーを得るために、昨年の夏に「ボランティア活動体験・見学プログラム」を開催しましたが、まだ見つかっていない状況です。（かわちながの字幕サークル 北邑奉昭）



体験見学プログラムの様子

「ボランティア活動体験・見学プログラム」での一場面